演習Ⅱ

担当者 石川　雄一

開講時期 通年　　**単　位** 8

●講義の概要

修論テーマに従って、修論の指導を行う。論文作成に並行して、資料の分析方法、地域統計データの分析方法、分析結果の図表化などの指導を行う。

●講義の到達目標

次の点に留意して修士論文を作成する。

・自らの研究目的・計画に妥当性があるか。

・地域統計データの正確な考察・表現（地図化）が行われているか。

・分析資料の正確な考察と表現（図表化）が行われているか。

●講義計画

修論の中間発表会および提出期限を基準に講義計画を立てる。

前期

修論に必要なデータの分析や資料の考察を深めつつ先行研究レビューや研究目的を作成する。

後期

中間発表会までに、独自の分析結果の一部をまとめ、考察した内容を文章化する。

中間発表会後は、修正も加えたうえで、残りの分析結果をまとめて、最終的な考察を行い、論文を完成させる。

●成績評価基準と方法

次の取り組みを次の割合で評価する。

授業時の研究成果報告（30%）、

中間発表会の成果（20%）、

修士論文の内容（50%）

●テキスト又は参考文献

テキストは使用しない。修論指導に応じて、必要な論文や書籍の紹介を逐次おこなう。

●受講上の留意点

授業時以外にも、修論作成上必要な指導を行うので、指導教員との連絡を密に行うこと。